

京都市立音羽小学校スローガン 『みんながつながる学校』



- ・子ども同士で学び合う・高め合う ・教職員同士で学び合う ・教職員と子どものつながりを深める
- ・子どもを中心に小学校・保幼・中学校・地域・保護者がつながり合う
- ・学校・家庭・地域が子どもに寄り添って学びを支える

学校教育目標

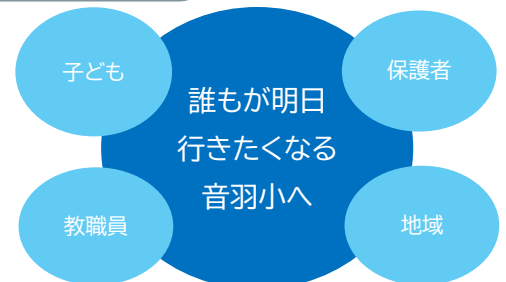
人とのつながりを大切に、ともに学び、高め合う子
～主体的に考え、みんなで問題を解決する力を育てる～

目指す子ども像

- ・自分で考え、問題解決に向けて挑戦し、人と助け合える子
- ・人とのつながりを大切に、自分も人も大切にできる子

目指す教職員像

- ・子どもに寄り添い、一人一人のよさや可能性を見つけ、のびることができる教職員
- ・子ども・保護者・地域の笑顔を引き出す関わりができる教職員



「子ども同士で学び合う・高め合う」

- ◇問題解決学習をベースにした学び合いの充実
- ・付きたい資質能力を意識した単元構想をデザイン
- ・主体的に問題解決をする問いかけの充実
- ・ともに学び、高め合う時間の設定
- ・成長の実感につながる授業と家庭学習との連携
- ◇高学年が中心となる主体的な縦割り活動の充実
- ・委員会活動を中心とした学校運営
- ・フレンドリー活動・音羽まっりの充実

「教職員と子どものつながりを深める」

- ・「チーム担任制」による学年部全体で関わる体制作り
- ・「自己有用感」「自己肯定感」を高める関わり
- ・子どもの発達に応じた「発達支持的生徒指導」
- ・子どもと向き合う時間を確保する働き方改革

「教職員同士で学び合う」

- ・教職員が支え合う心理的安全性の保たれた職場作り
- ・OJT を中心にした学び合い、高め合い
- ・スキルアップデーを活用した研修の受講・伝達

子どもを中心に小学校・保幼・中学校・地域・保護者がつながり合う

- ・9年間で付きたい力を意識したカリキュラムの確立
- ・総合的な学習の時間を中心にした単元構想
- ・地域人材を活用した山科ならではの体験活動
- ・幼保小の架け橋プログラムの推進

「学校・家庭・地域が子どもに寄り添って学びを支える」

- ・学校運営協議会、懇談会などを中心とした情報共有
- ・縦割り活動を含む学校行事での関わり構築
- ・学校・地域・家庭が連携した安全活動の推進
- ・学校評価アンケートの分析を基にした取組の改善